

保護者の皆様

平成30年3月12日

高槻市立北大冠小学校
校長 今奥 晶博

平成29年度学校評価について

平素より、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。『学校評価』とは保護者の皆様、学校評議員さん等の地域の皆様のご意見を踏まえ、学校として1年間を振り返り、自ら評価を行うものです。全国学力・学習状況調査の結果や学校教育自己診断の結果についてはすでにお知らせしたところですが、その内容も踏まえて、学校教育目標、めざす子ども像に添って今年度の取り組みを振り返りたいと思います。

【学校教育目標】	『一人ひとりが輝いて』 ～自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を培い、共に生きる力を育む～
《めざす子ども像》	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学び、考える子 ・互いを認め合い、助け合う子 ・正しく判断し、行動する子 ・自然や命を大切にする子

今年度はこの目標の元、様々な取り組みを進めてまいりました。以下に、項目ごとの振り返りと来年度へ向けての展望を述べたいと思います。

進んで学び、考える子をめざして

今年度は、高槻市教育センターから学校教育推進モデル校（外国語活動）の研究委嘱の2年目として、また、文部科学省教育課程特例校として、3・4年の「外国語活動」、5・6年での教科化を見据えた「英語」の研究を推進するとともに、『国語科』にも焦点を当て、『聴いて、考えて、つながる授業』をテーマに、子どもたち一人ひとりが自分の考えを持ち、友達と交流することで多様な考え方に触れ、さらに自分の考えを深めていく授業を旨として取り組んで参りました。これまでの一問一答の授業からの脱却を図り、子ども達自らが学ぶ姿勢をつけていくための取り組みです。すでにお知らせのとおり全国学力・学習状況調査の分析からも、子どもたち同士が自分の考えを伝え合い、多様な考え方や感じ方に触れることでより理解を深めていくことができていることが結果にも表れております。また、各校の特色を大事にしながらも、小中の結びつきをさらに強め9年間の一貫した授業・教育活動を充実させてまいりました。



来年度から2年間は、2020年度より本格実施されます新学習指導要領の移行期間となります。また、改めて高槻市教育センターから学校教育推進モデル校（外国語活動）の委嘱を受け、「英語教育」にも一層の力を入れてまいります。今後とも、「チーム北大冠」として全力で取り組んでまいります。

そして、学力の定着には繰り返し練習したり復習したりすることが必要で、そのためにはご家庭の協力が不可欠です。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

互いを認め合い、助け合う子をめざして

左記のような学習を進めるためには、学校がすべての子どもたちにとって安全に、安心して生活できるところであることが大前提であると考えています。そして、何より一番安心できるところが学級でなければなりません。そのためには、先生と子ども、子ども同士が互いに認め合い、相手の言うことをしっかり聴こうという姿勢が欠かせません。こういった関係作りは授業のみならず、日常の学校生活全般を通しての関係作りが大切です。学校では日々いろいろな出来事があり、時には子ども同士意見が違ったり、ケンカになることもあります。また、相手を傷つけてしまうような言動が起きることがあります。そんな時にはきちんと自分の気持ちを伝えて、互いに相手の気持ちを分かり合えるような解決のしかたをするよう、各担任は丁寧に取り組んでいます。が、さらに今後も「やさしい話し方・あたたかい聴き方」を基本に、優しい学級づくりをしていきたいと考えています。相手への思いやりを持った言動はいい関係づくりの潤滑油です。そんな暖かい関係の中で子ども達が毎日の学校生活を送れるよう、これからも取り組んでまいります。各ご家庭におかれましても、子ども達への日常的な声かけとともに、子どもの声をできるだけ聴いていただき、何か気になることがあれば必ず学校へご一報いただきますよう、お願い申し上げます。

正しく判断し、行動する子をめざして

一人ひとりが自分自身でしっかり物事を考え、判断し、行動することは大変大事です。しかし、現代は大変価値観が多様化し、様々な点で考えや思いが一致しないことも増えてきました。また、情報化社会が進化した中では、スマートフォンなど情報機器の使用による問題等大変難しい時代になりましたが、便利な道具を賢く使い、トラブルに巻き込まれないためにも使い方やきちんと学習する場をもつ必要があります。平成30年度より「道徳」が特別の教科になりますが、上記のことをふまえて道徳教育にも力を注ぎ、充実させていきたいと考えています。さらには、子どもたちには学校や家庭、地域での様々な人との出会いや経験を通して人によって多様な考え方があることを知り、自己実現を目指して将来の自分を考え、夢や希望をもてる児童になってほしいと願っています。そのためには、キャリア教育の視点でさまざまな教育活動を見直し、一人ひとりの子どもたちの夢を育む教育を丁寧に取り組んでいきたいと考えています。

自然や命を大切にすることをめざして

今、世界を見ても痛ましい事件や紛争が絶えません。命は何物にも換え難い、大切なものです。また、近年は大きな自然災害や中には人災といえるようなこともあります。便利さと引き換えに破壊してしまった自然も数多くあります。しかし、私達が健康に生きていく上で自然はかけがえのない物です。そのかけがえのない自然を大切に、子孫に受け継いでいくことは私たちの使命でもあります。前述の道徳の時間も含めて、すべての教育活動の中で自分の生命や他者の生命、そして、身の回りの自然を大事にする意識をより高めていくような取り組みも大事にしながら進めてまいります。

今年度もあとわずかとなりました。振り返ってみますと、ずいぶんいろいろなことがありました。6年生の子どもたちは中学校へ巣立っていきますが、来年度も新しい一年生を迎え、教職員一同新たな気持ちで取り組んでまいりたいと考えています。どうか今年度と変わらぬご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。そして、学校と保護者と地域が協力して子どもの教育にあたるよう、様々な機会を通して意見交換し、手立てを探っていきたく思います。ぜひ忌憚のないご意見をお寄せください。

本年度はどうもありがとうございました。そして、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。